

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
597		合併処理浄化槽設置及び管理事業	01		一般会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	04		衛生費
			01		保健衛生費
			04		環境対策費
担当部課名		建設部下水道課	細目	104	浄化槽設置及び管理事業
作成者氏名	松本 秀喜	連絡先	細々目	01	合併処理浄化槽設置及び管理事業
		22-9821			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント整備事業の事業認可区域等を除く区域で、当市に住所を有し、処理人口対象人員10人以下の合併処理浄化槽を設置しようとする世帯	各家庭からの生活雑排水が浄化され排出されることにより、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上に寄与するとともに、生活環境が改善され、快適な暮らしをすることができます。			
本年度事業内容	1 補助対象者 下記に掲げる区域以外に合併処理浄化槽を設置しようとする市内に住所を有する方 ①公共下水道事業及び農業集落排水事業の事業認可区域 ②大型合併処理浄化槽を利用して共同処理される住宅団地等の区域 ③浄化槽市町村整備推進事業における対象区域 2 補助内容 5人槽354,000円/基、7人槽411,000円/基、10人槽519,000円/基 3 補助方法 補助金交付申請書等の申請手続き				
開始年度	平成 元 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1	1	1
	人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)	事業費(B)	82,246	100,059	100,500
	負担金、補助及び交付金	80,457	98,060	98,060
	繰出金	1,735	1,866	2,307
	その他	54	133	133
合計(A+B)		89,446	107,259	107,700
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	53,542	65,250	65,250
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	35,904	42,009	42,450	
上記①～③に関する特記事項				
②支出内訳の繰出金は、浄化槽事業特別会計への繰出金です。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
補助金交付基数	基	203	250	250			
補助金交付額	千円	80,313	97,875	97,875			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
合併処理浄化槽設置基数率 (実績設置基数/計画設置基数)	合併処理浄化槽の計画設置基数に対する実績設置基数の比率を指標とすることにより、事業の進捗状況が把握できます。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

三重県が平成8年度に策定した「三重県生活排水処理施設整備計画(生活排水処理アクションプログラム)」に基づき、生活排水処理施設整備率の向上を目指して、公共下水道事業、農業集落排水事業等の集合処理施設の整備を進めてまいりました。市町村合併により、処理区の統合など、更に効率的、かつ、計画的に事業を推し進めるため、昨年度、この計画の見直しを行い、「伊賀市生活排水処理施設整備計画(伊賀市生活排水処理アクションプログラム)」を策定しました。この整備計画は、市全体の約90%を集合処理施設で整備しようとするものであります。当事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全に大きく寄与していますが、合併処理浄化槽の普及が進めば進むほど、集合処理施設の整備に対する需要度が減少することが懸念されます。

評価	必要性	4	浄化槽法に基づく、浄化槽の法定検査等が、一部、実施されていない状況等、維持管理について適切に行われているとは言えない現状ではありますが、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、市民の方々の快適な暮らしを支えるには、この事業は必要であり、引き続き、実施する考えです。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	4		
	効率性	3		